

2019年6月22日

報道機関のみなさまへ

(公社)大阪自然環境保全協会では、夢洲が万博候補地になったことを受け、2018年11月19日に「生物多様性のホットスポットである夢洲の自然環境保全に関する要望及び質問書」を大阪府・大阪市に提出しました。そして、府・市それぞれの担当課から、夢洲は生物多様性において重要な地域であることを認識しており、万博建設計画の中で必要な調査を行う予定との回答を得ています。

今回、当協会は NPO 地域づくり工房 と共催で、2019年5月10日に「夢洲にかかわる環境アセスメントの提案づくり」に向けてのワークショップの第1回を開催。翌5月11日に参加者のみなさんと夢洲の視察を行い、埋め立ての進む現在でも、野鳥が多く飛来し、植物も生育している状態を見て、現在の状態の予備調査をすることにいたしました。

6月17日には、野鳥の生息状況を見に行きました。

結果を申しますと、コアジサシの繁殖の確認はできませんでした。しかし巣材を運ぶコアジサシを見かけたので、繁殖がゼロとは言えません。が、夢洲の土地の状態は日々変わっていくので、コロニーが作られる可能性は非常に低いと思われます。

下見にいった1月、現地視察をした5月に比べると、季節的にも野鳥の数は大変すくなくなっておりましたが、子育て中のカルガモの姿も見え、いろいろな野鳥の繁殖地にはっている様子でした。

当日の調査結果は以下のとおり。

確認した鳥種：マガモ、カルガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、カイツブリ、ドバト、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、バン、オオバン、コチドリ、コアジサシ、トビ、チョウゲンボウ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ツバメ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ 以上24種

以上の鳥種の内、繁殖関連の観察

カルガモ：巣立ちビナ連れ

カイツブリ：抱卵中の巣

バン：繁殖適地で複数個体を確認

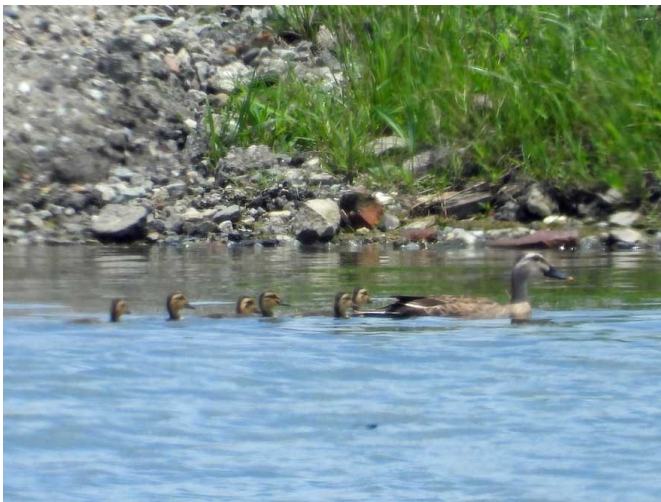
コチドリ：繁殖適地で確認

コアジサシ：繁殖適地で少なくとも3羽確認。1羽の餌運びを確認。

ただし巣やヒナは確認できず。餌を運んでいった方向からは夢洲内の可能性が高い。

ヒバリ：繁殖適地で囀り

セッカ：繁殖適地で囀り



(写真／大阪自然環境保全協会 小野款司)

なお、当協会の活動は、すべて市民のボランティアで行っております。
今後の調査は G20 が終わった後、植物調査を予定しています。

万博開催地として夢洲の正式登録をする前に、国際的にも恥ずかしくない環境アセスメントが実施されるよう、今後も各方面に対し提案していきたいと考えておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(本件お問い合わせ先)

〒531-0041 大阪府大阪市北区天神橋 1-9-13 ハイム天神橋 202

公益社団法人大阪自然環境保全協会 (担当：加賀まゆみ)

電話 06-6242-8720 FAX 06-6881-8103

メール office★nature.or.jp (★を半角@に変えて送信してください。)